教科名：大問１

大問（テキスト）

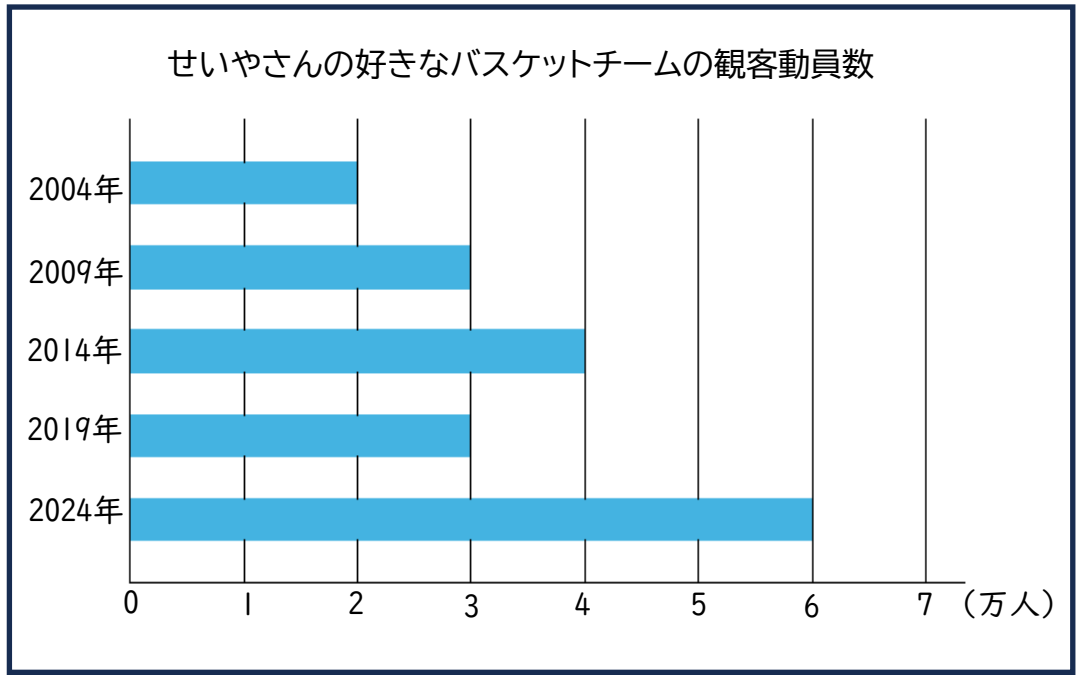
せいやさんはバスケットボールにきょうみをもっています。せいやさんは、自分の好きなバスケットボールチームについてインターネットを使って調べました。

大問図版（テキスト・画像）



せいや

2004年から2024年にかけて５年おきの観客動員数（バスケットボールの試合を見に来たお客さんの数）のグラフを見つけました。



小問1（テキスト）

せいやさんが調べたチームの2024年の観客動員数は2009年の観客動員数の何倍ですか。

解答欄（択一）

1. 0.5
2. 2
3. 3
4. 6
5. 2万

教科名：大問１

解答・解説

小問１

解答類型			正答
1	0.5	「2024年の観客動員数は2009年の観客動員数の何倍ですか。」に対し、2009年の観客動員数が2024年の観客動員数の何倍かを求めたと考えられる。	
2	2	「2024年の観客動員数は2009年の観客動員数の何倍ですか。」に対し、基準量と比較量をとらえ、正しく求めることができている。	◎
3	3	「2024年の観客動員数は2009年の観客動員数の何倍ですか。」に対し、2009年と2024年のグラフの目盛りの差に着目して３倍ととらえたと考えられる。	
4	6	「2024年の観客動員数は2009年の観客動員数の何倍ですか。」に対し、2024年の観客動員数の目盛り６から６倍ととらえたと考えられる。	
5	２万	「2024年の観客動員数は2009年の観客動員数の何倍ですか。」に対し、６万÷３万＝２万と計算したと考えられる。	
0		**無解答**	

解説（テキスト）

グラフの横軸の単位は（万）です。2024年の観客動員数は６万人、2009年の観客動員数は３万人です。６万人は３万人の何倍かを考えます。

６万÷３万＝２　２倍

グラフの目盛りの数、2024年の目盛りは６、2009年の目盛りは３から

６÷３＝２　２倍

と考えてもいいですね。

教科名：大問１

大問（テキスト）

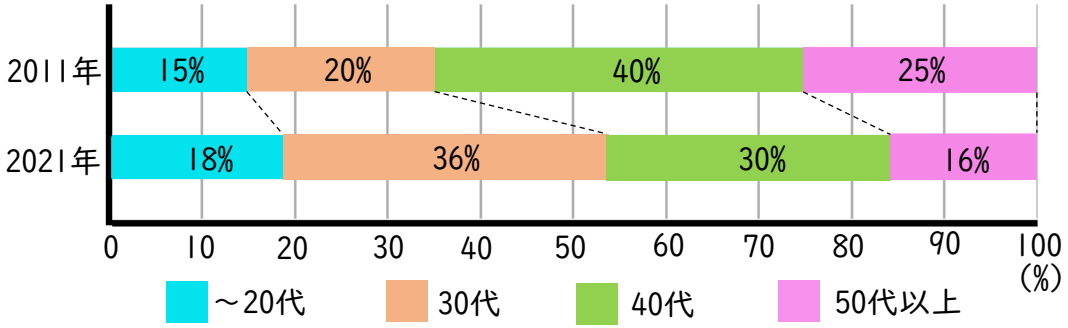
せいやさんはバスケットボールにきょうみをもっています。せいやさんは、自分の好きなバスケットボールチームについてインターネットを使って調べました。

大問図版（テキスト・画像）

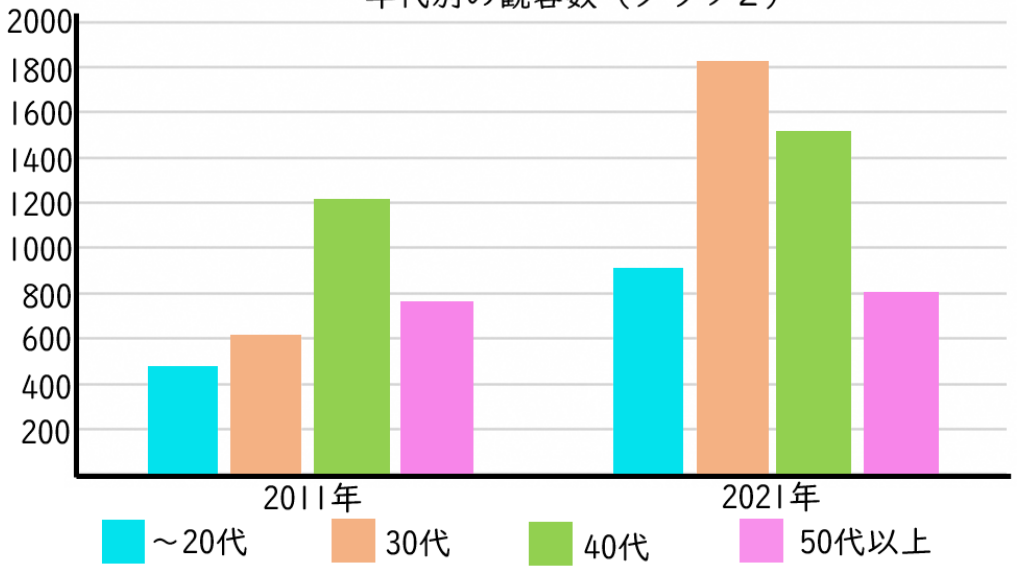


ぼくの調べたチームの観客動員数について、さらにくわしく調べてみると、「年代別の観客数の割合（グラフ１）」と「年代別の観客数（グラフ２）」を見つけました。**［40代の観客数は、2011年より2021年の方が少ない］**のは意外でした。

年代別の観客数の割合（グラフ１）



年代別の観客数（グラフ２）



小問２（テキスト）

　せいやさんの**［40代の観客数は、2011年より2021年の方が少ない］**という考えについて、「正しい」か「正しくない」かを判断するためには、（グラフ１）（グラフ２）のどちらを見るとよいでしょう。
　着目するとよいグラフと、せいやさんの考えについていえることの組み合わせを下から選びましょう。

解答欄（択一）

1. （グラフ１）に着目する　－　せいやさんの考えは「正しい」
2. （グラフ２）に着目する　－　せいやさんの考えは「正しい」
3. （グラフ１）に着目する　－　せいやさんの考えは「正しくない」
4. （グラフ２）に着目する　－　せいやさんの考えは「正しくない」

小問２

解答類型			正答
1	１を選択	「40代の観客数が減っている」ことを年代別の観客数の割合（グラフ１）に着目し、「正しい」ととらえていると考えられる。	
2	２を選択	「40代の観客数が減っている」ことを年代別の観客数（グラフ２）に着目し、「正しくない」ととらえていると考えられる。	
3	３を選択	「40代の観客数が減っている」ことを年代別の観客数の割合（グラフ１）に着目し、「正しい」ととらえていると考えられる。	
4	４を選択	「40代の観客数が減っている」ことを年代別の観客数（グラフ２）に着目し、「正しくない」と正しくとらえることができた。	◎
0		無解答	

解説（テキスト）

（グラフ１）は、年代別の観客数の割合を表します。2011年、2021年の観客数全体を100％とし、～20代、30代、40代、50代以上のそれぞれの割合の大きさを表しています。

（グラフ２）は、年代別の観客数を表します。2011年、2021年の～20代、30代、40代、50代以上の観客数を、それぞれぼうの高さで表し、ぼうが高いほどその年代の人数が多いことを表しています。

せいやさんの**［40代の観客数は、2011年より2021年の方が少ない］**という考えは、観客数を比べたものです。これが正しいかどうかを判断するには、グラフ２の2011年の40代の観客数を表すぼうの高さと、2021年の40代の観客数を表すぼうの高さに着目します。

2021年の観客数を表すぼうの方が高くなっているので、2011年から2021年にかけて、40代の観客数はふえていることがわかります。

グラフ２から、せいやさんの言っていることは正しくありません。

教科名：大問１

大問（テキスト）

せいやさんはバスケットボールにきょうみをもっています。せいやさんは、自分の好きなバスケットボールチームについてインターネットを使って調べました。

大問図版（テキスト・画像）



せいや

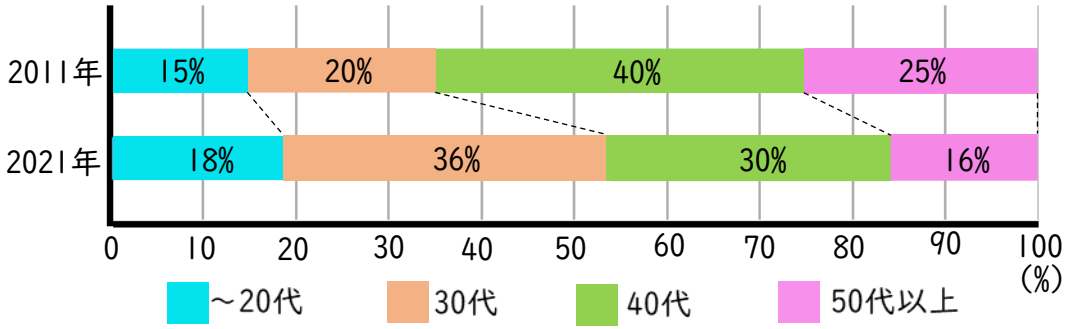
（グラフ２）を見ると、2011年と2021年で50代以上の観客数はあまり変わりません。でも、（グラフ１）を見ると50代以上観客数の割合は2011年より2021年が小さくなっています。２つのグラフで、なぜこのようなちがいがうまれるのかな？？



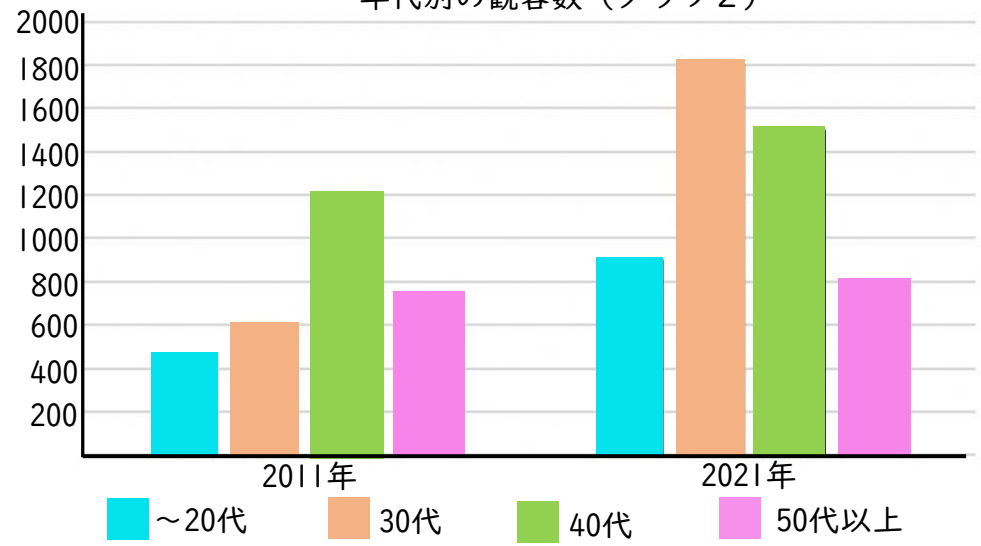
あずま

【あずまさんの説明】

年代別の観客数の割合（グラフ１）



年代別の観客数（グラフ２）



小問３（テキスト・図版）

【あずまさんの説明】は次のとおりです。［　　］に入る言葉をそれぞれ選びましょう。



あずま

（グラフ１）で2021年の50代以上の観客数の割合が2011年より小さくなっているのは［　　］がちがうからだよ。

解答欄（択一）

1. 2011年と2021年のそれぞれの選手の得点
2. 2011年と2021年のそれぞれ50代以上の観客数
3. 2011年と2021年のそれぞれのバスケットボールの試合数
4. 2011年と2021年のそれぞれ１年間の全体の観客数

小問３

解答類型			正答
1	1を選択	2011年と2021年の50代以上の観客数はほぼ変わらないのに、割合が小さくなっている理由について、「2011年と2021年のそれぞれの選手の得点」がちがっているからととらえていると考えられる。	
2	２を選択	2011年と2021年の50代以上の観客数はほぼ変わらないのに、割合が小さくなっている理由について、「2011年と2021年のそれぞれの50代以上の観客数」がちがっているからととらえていると考えられる。	
3	３を選択	2011年と2021年の50代以上の観客数はほぼ変わらないのに、割合が小さくなっている理由について、「2011年と2021年のバスケットボールの試合数」がちがっているからととらえていると考えられる。	
4	４を選択	2011年と2021年の50代以上の観客数はほぼ変わらないのに、割合が小さくなっている理由について、「2011年と2021年のそれぞれ１年間の全体の観客数」がちがっているからと正しくとらえることができている。	◎
0		無解答	

解説（テキスト・画像）

割合は、全体と部分の大きさの関係を表すのに用いられることがあります。

グラフ２の2011年の各年代の観客数を合わせると１年間の観客数全体は約3000人となります。2021年の各年代の観客数を合わせると１年間の観客数全体は約5000人となります。

１年間の全体の観客数（全体）と50代以上の観客数（部分）の大きさの関係をみると、2011年は約3000人（全体）の中の約750人（部分）、2021年は全体約5000人（全体）の中の約800人（部分）となり、2011年、2021年の50代以上の観客数はあまり変わりはなくても、約5000人からみた約800人のほうが割合は小さくなります。

2011年
　750÷3000＝0.25　25%
2021年
　800÷5000＝0.16　16%

全体の大きさと部分の大きさに着目して、割合をとらえましょう。